震災救援所運営管理
標準マニュアル

（資料・様式集）

【新旧対照表】
令和７年３月　修正版

※令和７年３月修正と令和５年７月修正のマニュアルの
新旧対照表になります。

新	旧
１１ページ	
7　ペット用防災物品一覧	

品名	数量	用途等
タープテント	１組	
収納ボックス	１箱	テント以外の物品収納用
カラーシート（緑）	１枚	
ブルーシート	１枚	テント床面敷用
片手ハンマー	１個	ペグ打ち用
軍手	４双	避難スペース設営用
ボールペン	２本	受付用
油性マーカー	２本	受付用
布テープ	１巻	受付用
養生テープ	１巻	避難スペース設営用
結束バンド（大）	１袋	避難スペース設営用
結束バンド（小）	１袋	避難スペース設営用
ビニールひも	１巻	避難スペース設営用
はさみ	１個	避難スペース設営用
カッター	１個	避難スペース設営用
雑巾	５枚	清掃用
ごみ袋	１袋	清掃用
ビニールポーチ	１袋	事務用品等収納用
ペット避難場所表示板	２枚	避難スペース設営用
マイクロチップリーダー	１個	受付用
電池（単３）	１組	ＬＥＤランタン用
電池（単４）	１組	マイクロチップリーダー用
ＬＥＤランタン	１個	夜間用
震災救援所ペット対応てびき	５０部	

新	旧
	42～44 ページ

（旧）

3　感染対策物品の着脱の流れ

①感染対策物品の着脱の流れ

○衛生班の基本装着（マスク、ゴム手袋、フェイスシールド）

○：原則着用　△：必要に応じて着用

	マスク	ゴム手袋（1枚目）	ゴム手袋（2枚目）	フェイスシールド	医療用ガウン
専用受付	○	○	△	○	△
体調不良者等の誘導	○	○	△	○	△
専用区域内での活動	○	○	○	○	○
陽性者専用区域での活動	○	○	○	○	○

・専用区域に入るときは、ゴム手袋（２枚目）及び医療用ガウンを着用し、専用区域から出るときに脱ぐ。

▼装着▼

①手指消毒　②ガウン装着

③ゴム手袋（２枚目）を装着　④装着状況を再確認し専用区域へ

▽離脱▽

①手指消毒（ゴム手袋の上からアルコール消毒）

②靴裏の消毒（消毒液を付けたウェットティッシュで清拭）

③ゴム手袋（２枚目）を外す（内側に触れないように）

④ガウンを外す（結び目は切る。外側を内側に丸め込み捨てる）

⑤フェイスシールドを消毒（②と同様に清拭）

⑥ゴム手袋（1枚目）を外す（内側に触れないように）

⑦新しいゴム手袋を付け、⑤で消毒したフェイスシールドを装着

⑧一般区域へ戻る

新	旧
69 ページ	

9　救急情報キット一式

① 救急情報キットとは

➡「地域のたすけあいネットワーク（地域の手）」の登録者の方に、民生児童委員が訪問し、救急情報キットの配布をしています。緊急時に必要な支援内容が書かれた「個別避難支援プラン」などが入っており、万が一の際のすみやかな支援に役立てることになっています。救急情報キットは登録者宅の冷蔵庫などに保管しています。

②構成

- 救急情報キットの容器
- 救急情報キット　使用のしおり
- 表示用ステッカー
  - ➡磁気ステッカー　１枚
  - ➡シール製　２枚（うち１枚は予備用）
- 安否確認シール　１枚
- 個別避難支援プラン
  - ➡民生児童委員が作成しキットに保管します。

新	旧
78ページ	

１５　避難者向けWi-Fiのご案内

使い方

Wi-Fi機能をONにして

画面の「00000JAPAN」を選択する

被災地で、00000JAPANを提供しているWi-Fiスポットの近くに行けば、誰でも、簡単な手順で使うことができます。

例えばスマートフォンで利用する場合は、次のようになります。

① 画面の「設定」のアイコンをタップし、「Wi-Fi」を選択
② Wi-Fi機能をONにする
③ 近くで稼働しているWi-Fiネットワークの一覧が表示されるので、上位に表示されている00000JAPANをタップする

これだけで、00000JAPANに接続され、インターネットが利用できるようになります。事前の設定やパスワードの入力は必要ありません。

インターネットに接続されれば、メールやSNSで家族や友人の安否確認ができますし、Webやニュースアプリによる災害情報の入手も可能になります。

Wi-Fi機能をオンにして、ネットワーク一覧から
00000JAPANを選択すると、
インターネットが使えるようになります

※基地局が倒壊した場合などは、Wi-Fiが使えないことがあります。

※悪意のある人が通信内容を傍受する可能性があるため、個人情報の入力は避けてください。

新	旧
79～82 ページ	

１６　LINE 投稿マニュアル

①杉並区公式 LINE を開き、「防災メニュー」　→　「災害投稿」　をタップする。

②「災害投稿」をタップし、「被害の事象」を選択します。その後、「カメラを起動」をタップします。

③「ファイルを選択」→「写真またはビデオを撮る」の順にタップし、被害状況を撮影します。

④被害状況を撮影後、「写真を使用」をタップし、「位置情報を開く」をタップします。

⑤「位置情報を開く」をタップした地点に自動的にピンが落とされます。（ピンは画面をスライドさせて自由に移動できます。）次に「日時を選択」をタップし、撮影時刻を入力します。

⑥必要に応じて、被害状況などのメッセージを入力します。（任意）

⑦内容を確認し、誤りがなければ、「投稿する」をタップします。